令和6年(2024年度)度学校運営協議会委員・地域学校協働活動推進員(学校コーディネーター)合同研修会

－研修概要－

【日　時】令和6年(2024年)10月27日(日)14:00～16:00

【場　所】教育センター

【講　師】明星大学教育学部　教授　星山　麻木氏

【内　容】特別支援教育に関する講義

会場の様子

今回は、明星大学教育学部教授である星山先生をお招きし、特別支援教育に関する講義を行いました。

折り紙を使ったワークの様子

1枚の折り紙を、「普通に渡す」「目をつぶって渡す」「1本の指で渡す」というワークを行いました。ここで学んだことは、困っている人には、情報のある周囲の人が、わかりやすい指示を出してあげること。
そこから、大人も子どもも一人で頑張らなくてもいい、思いやりとやさしさをもって、助け合い、支えあうことが大切である、ということを学ぶことができました。

講義の様子

「みんな虹色。世の中にはいろんな色の人たちがいる。発達がゆっくりなところを持った人たちの、できない事の理由を探すのではなく、できるところ、いいところ、得意なところをたくさんほめてあげよう。子供たちを助けることは自分たちの未来を助ける事。」
参加者の皆さんはとても真剣に講義を聞いていました。

参加者の主な感想

〇子ども達を理解してもらうチャンスを持ちたいと思っています。「できるよ」と背中を押していただいた気がします。

〇「子どもの未来をつくるのは、私たちの未来を創る」という言葉が心に残りました。

〇多様な価値観を改めて考えてみたいです。理解しているようでなかなか難しいと知りました。改めて不登校の児童の増加に驚きました。

〇「特性は努力でなおすものじゃない、活かすもの」とても心に刺さりました

〇漢字が苦手な子、見写し書きができない子が多い理由が良く理解できました。なぜ？と一方的に見るのではなく、特性を理解すること・知ることが大切であると感じました。

〇発達障害や一人ひとりの個性のことで悩んでいる保護者の方たちに、今日教えてもらったことを伝え、力になりたいと思います。